



北村 あや子 区政ニュース

新年度予算案 今年も“過去最大”1367億円

荒川区議会ではいま、来年度の予算案が審議されています。一般会計予算案は、区民税収や財政調整交付金(法人税+固定資産税の配分)の増加を見込み、過去最大の1367億2千万円(前年比+47億9千万円、3.6%増)。区の予算規

区の予算は



模は年々増大し、10年間で1.4倍(!)です。区の貯金・基金も2016年の327億円から2026年430億円に増加しています。

学校給食や教材・修学旅行などの無償化、シルバーパスの費用助成などを継続するほか、主な施策では☆ワクチン助成拡大☆プレミアム付きお買物券のデジタル化☆行政手続きのオンライン化促進☆夏休みの子どもの遊び場検討など。

暮らし優先の予算編成を

物価高騰の中で深刻なくらしの支援、住み続けられるまちづくりが求められます。自民・維新政権のもとで、医療費値上げや軍事費増大が狙われており、地域から暮らしと平和の声を広げてゆきたいと思います。日本共産党荒川区議団は予算組み替えなどで提案をしていく予定です。

一般会計予算は
過去最大

1367億円

主な重点施策

子育て支援	産婦健診の費用助成、産後ケアの費用軽減など	8338万円
	5歳児健診の実施	909万円
	夏休みの子どもの遊び場の提供	320万円
	ひとり親の転居費用の助成	305万円
教育	英語教育の推進 ・教員用デジタル英語教科書の導入 ・中学校全学年に英検の費用補助 など	1.5億円
	中学校部活動の民間委託モデル実施の拡大	2853万円
	特別支援学級の新設、支援員の増員	2465万円
	予防接種の拡充	3.3億円
医療	在宅医療の24時間対応のための補助	1197万円
	障害者の生活支援の拡充 ・ガイドヘルパーの報酬引き上げ ・生活用具給付の拡充	6385万円
介護・障害	重度障害者グループホームの整備	5559万円
	ケアマネ定着に事業所へ補助金など	360万円
防災・土木	宮前公園の整備(第三期)	17.1億円
	耐震化補助の拡充、アスベスト除去費用の助成など	9.2億円
	災害時の備蓄の拡充 ・避難所用テント、ポータブル蓄電池の備蓄 ・段階的に食料を1日分→3日分に など	2.8億円
区内経済	中小事業者の設備投資、DX化の補助拡充など	5億円
	プレミアム付きお買物券のデジタル化	1.4億円
その他	新たな「荒川区基本構想」等の策定	5793万円
	行政手続きのオンライン化の拡充	3743万円
	シティブロモーションの推進	1356万円



尾久地域のイベントご案内

第60回あらかわ青年大会「アリストック」

日時:3月15日 日曜日 9:30~16:00

会場:あらかわ遊園アリスの広場(雨天の場合は西尾久ふれあい館で開催)

主催:第60回あらかわ青年大会実行委員会

ダンスやバンド演奏等のステージ出演、体験教室や模擬店等の出展が勢ぞろい。お出かけしてみたいはいかがでしょうか。

問合せ:荒川区生涯学習事業係 電話:03-3802-4575

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246 e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



西日暮里再開発 スケジュール 1年半遅れ予定



2月20日の荒川区議会建設環境委員会で西日暮里開発の技術協力者選定及びスケジュール変更について報告がありました。

西日暮里駅前再開発では延べ面積約 16 万4150㎡のビルを建設する予定。総事業費は約1342億円を見込んでいます大型再開発です。

人材不足や工事費の高騰で、全国的に再開発の遅延や中止が生じています。西日暮里再開発規模の工事を請け負える可能性のある大手・準大手ゼネコンにヒアリングを行ってきたようですが、ゼネコンからは受注が困難と…。住宅棟と商業棟を施工上分離してそれぞれ別会社で工事することを前提に受注に前向きな回答があったとのこと。

変更後のスケジュール

内容	変更後	変更前
権利変換計画認可	令和10年 6月	令和 8年12月
解体工事着手	令和10年10月	令和 9年 4月
建設工事着手	令和11年10月	令和10年 4月
建設工事完了	令和15年10月	令和14年 3月

外観は変えず、建築を分離するために、技術的なアドバイスが必要となり、(株)大林組が「技術協力業務」を委託することになったそうです。契約金額は数千万といわれています。

工事を請け負う会社は今後、特定業務代行方式または入札で決定していくそうです。大林組のアドバイスを踏

まえ、図面の一部修正、ゼネコンとの協議や権利変換計画認可に向けた権利者との個別面談などを進めるため、当初予定から約1年半遅れるとのこと。

スケジュールが伸びて、工事を2つにわけるとさらに事業費が上がるのが想定されます。

事業費はどうなる？

今後、事業費が膨れ上がったとしても、荒川区は区のお金も私たちの「税金」です。いつ崩壊するかもわからない不動産バブルのなかで、西日暮里の再開発は、やはりリスクがあります。「山手線沿線の事業なので、他の地域とは違う。タワーマンションで『担税力』のある住民を呼び込む」と区は言いますが、どうなのでしょう。タワーマンションの建設で、再開発で、これまで長年荒川区に住んでいる方々の生活は豊かになったのでしょうか。

保育園など区の施設有効活用を

来年度の保育園申込者は不承諾が 272 名。待機児童も数十名出る想定です。西日暮里再開発エリアには昨年度末に閉園した「ひぐらし保育園」があります。



すでに閉園していますが、短期間でも臨時で子どもたちの受け入れができないか要望しましたが、その予定はないと、バシッと断られました。保育園に子どもを安心して預けられない方がいる状況の中で、ためらいなく否定をすることは、非常に残念で冷たい答弁でした。働く保護者の要望に、あらゆる手を尽くすべき行政の姿勢が問われます。

街の声



*「東京アプリ」の download とマイナンバーカードによる本人確認で 11,000 円分の東京ポイントをもらえると聞いて、少しでも生活のたしにしたいと思いチャレンジしてみたが、やり方がわからない…。東京都に電話してみたら「若い人に聞いて」と言われた(!)なんてひどい案内だろう。→東京都が今年 2 月 2 日から来年 4 月 1 日まで行っている事業です。マイナンバーカードをお持ちの 15 歳以上で都内在住の方が対象です。専用コールセンター(03-6901-7979)がありますが、あまりにもひどい対応ですね。日本共産党の都議会議員にも情報共有しました。そもそもこの事業は「生活応援事業」とのこと。なおさら、都民の困りごとに応じてほしいです。



日時: **3月20日(金)** 18:30~20:00

会場: **北村あや子事務所**

荒川区西尾久2-4-8 1階

TEL&FAX:03-3894-6668 要予約



職場のトラブル、相続や終活のこと…一人で悩まずお気軽に相談を。弁護士と北村が伺います。